

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

## 事業名 ぎふグリーンドクター認定事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部恵みの森づくり推進課緑化推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3031)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,443千円 (前年度予算額：1,443千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,443	0	0	0	0	0	0	0	1,443
要求額	1,443	0	0	0	0	0	0	0	1,443
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本県には、天然記念物に指定されている樹木を始めとした名木、巨樹古木等が数多生育しており、これらの貴重な樹木の保護・保存を図っていくため、平成7年度から一定水準の知識・技術を身につけた岐阜県緑の博士としての養成、認定を行う。

また、(一社)岐阜県造園緑化協会内に「緑の相談室」を設置し、緑化木や貴重な樹木の保護・管理等の助言、指導を行っている。

### (2) 事業内容

#### ①岐阜県緑の博士 (グリーンドクター) の認定

認定審査会の開催、研修会の実施、認定試験の実施 等

#### ②緑の相談室の設置

一般県民、自治体からの相談に応じ、現地診断・指導等を実施

### (3) 県負担・補助率の考え方

民間で同等の資格を創設することは困難なため、県主体で実施、県費負担と

する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報酬	231	認定委員報酬
報償費	408	研修講師謝金
旅費	195	認定委員、研修講師費用弁償、業務旅費等
消耗品費	104	研修用資材、事務用品
委託費	500	相談員報償費等及び事務経費
役務費	5	電話代、送料
合計	1,443	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国」創生総合戦略

- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
- ②美しく豊かな環境の保全・継承  
(環境教育の推進、担い手の育成・確保)

第3期岐阜県森林づくり基本計画

- 3 人づくり及び仕組みづくりの推進

(2) 国・他県の状況

公的機関認定の資格を持った専門家(グリーンドクター)による無料相談窓口は国及び他県にはない。

(3) 後年度の財政負担

今後も引き続き認定していくため、同額程度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県内に生息する貴重樹木の保護・保存の体制強化を図るため、岐阜県が認定する。また、緑の相談室について、緑化木・庭木等に関する知識・技術に施通した団体に委託する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 樹木に対する一定水準の知識・技術を身につけた専門家を想定し、貴重樹木の保護・保存の体制強化及び意識の高揚を図る。  
 樹木に関する相談窓口として、緑化木の選定・管理、病虫害に対する対応、貴重樹木の保護・管理等に技術指導等の相談、現地診断、指導を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	

### ○指標を設定することができない場合の理由

一定水準の経験と知識・技術を身につけた専門家の認定に要する経費であるため。  
 また、県民からの相談に対応する経費であるため。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定審査会、部会の開催</li> <li>・A級研修選抜試験の実施</li> <li>・A級研修、登録更新研修の実施</li> <li>・（一社）岐阜県造園緑化協会へ委託し、「緑の相談室」を開設</li> </ul>
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>本県には、天然記念物をはじめ、名木等が多数生育しており、これらを次世代に継承していくため、専門家の養成は必要である。また、相談窓口は緑化推進上必要である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：まだ期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>各地域で研修会を開催するなど、認定後の自己研鑽に努めており、県内の名木等の保護・保存体制の強化を図っている。また、毎年の相談に対応し、緑化保全の推進に寄与する。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>認定試験を隔年に実施し、経費の削減と効率化を図っている。また、県民からの相談に対して、県下各地域の専門家が効率的に対応している。</p>

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項                  登録の有効期限が切れた者が増えつつあるため、登録更新研修の周知を図る。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか                  樹木に対する一定水準の知識・技術を身につけた専門家を認定し、貴重樹木の保護・保存の体制強化及び意識の高揚を図ることが必要であるため継続。                  相談窓口の設置についても、樹木に関する唯一の無料相談窓口であり、貴重樹木等の保護・保存を図り、緑化を推進するために継続。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	

